

第 110 回 全国健康保険協会千葉支部評議会の概要報告

開催日	令和 2 年 1 月 15 日 水曜日 14:30 ~ 16:00
開催場所	日本生命千葉ビル 4 階会議室
出席者	一法師評議員、小賀野評議員、椎名評議員、鈴木評議員 中野評議員、野口評議員、萩原評議員、宮本評議員（五十音順）
議題	1. 令和 2 年度 千葉支部事業計画について〈審議事項〉 2. 令和 2 年度 千葉支部保険者機能強化予算について〈審議事項〉 3. 令和 2 年度 保険料率について〈審議事項・報告事項〉 4. その他
議事概要 (主な意見等)	

議事概要

1. 令和 2 年度 千葉支部事業計画について〈審議事項〉

■資料 1-1: 令和 2 年度 千葉支部事業計画

■資料 1-2: 令和 2 年度 千葉支部事業計画における KPI（重要業績評価指標）一覧表

《主な意見・質問等》

◆「限度額適用認定証の利用促進」について本年度の KPI は 90.3%であったが、来年度では 89.3%となっている。これは実現できるといった意味で数値を下げたのか。そうであれば、ぜひ達成してほしい。《学識経験者》

⇒現在、限度額適用認定証の使用割合は限界に近くなっており、伸び率は急速に鈍化しています。そのため来年度は現実的な数値として本年度より目標を 1%下げています。

◆関係団体と共同で加入者の健康増進に向けた取組や各種広報を行うとあるが、いろんな団体と取組を行っているという千葉支部のネットワークの広さをアピールすべきである。関係団体と協力することによってコストも抑えることができる。また、ラジオについては、ベイ FM など大きなラジオ局のほか、地域のミニラジオ局に千葉支部職員が出演する等して広報を行ってもよいのでは。《被保険者代表》

◆広報について、常にホームページを見る加入者は少ないだろうから、地域紙などの紙媒体で広報を行うのもよいのではないかと。ただ、千葉県全域をカバーするのは難しいと思うので、健診受診率の低い地域のみなど、ターゲットを絞った広報を行い、一人でも多くの加入者に千葉支部の活動を知ってもらうようにしてほしい。《被保険者代表》

⇒どこをターゲットにして広報をするのかは重要なことだと考えています。費用対効果も鑑みつつ広報を行っていきたいと思いますので、今後ご意見をいただきますようお願いいた

します。

◆パブリシティなどお金を使わない広報活動も必要だと思う。そのためにも各メディアに働きかけをしなければならない。記者クラブもあるので納入告知書のチラシやイベントの広報紙を積極的に投げ込んでいってもよいのではないか。また、特定保健指導の実施率の低い業界などに対しては、勸奨記事を載せてもらうよう働きかけを行ってはどうか。

《学識経験者》

◆一者応札になった入札については検証を行っているのか。《学識経験者》

⇒要因を分析して、公告期間を長くする、関係者に対するアプローチ等を行う予定です。

*「令和2年度 千葉支部事業計画」について、評議会から了承いただいた。

2. 令和2年度 千葉支部保険者機能強化予算について〈審議事項〉

■資料 2：令和2年度 千葉支部保険者機能強化予算について

《主な意見・質問等》

◆加入者が増大していく中で、千葉支部の予算計上額が前年よりも減っているが全国的にもこのような状況なのか。限られている予算の中で事業を進めるシステムとなっているのか。満足な広報ができるのか不安に思う。《被保険者代表》

⇒保険者機能強化予算は医療費適正化や保健事業の充実を図る目的で配置されている予算です。支部ごとに予算額の上限が決められており、支部で作成した予算案を本部に提出し、そこから内容が精査され決定します。千葉支部では、今年度の実施状況や前年度の実績、費用対効果等を踏まえて検討した結果、来年度の予算は今年度より減額となる形で計上しておりますが、全額を認められており、支部の業務の円滑な実施には問題ありません。

◆職員の企画力などが取組内容に影響していくということによろしいか。《被保険者代表》

⇒その通りです。

*「令和2年度 千葉支部保険者機能強化予算」について、評議会から了承いただいた。

3. 令和2年度 保険料率について〈審議事項・報告事項〉

■資料 3-1：令和2年度 保険料率について

■資料 3-2：令和2年度保険料率に関する評議会での意見（千葉支部）

《主な意見・質問等》

◆保険料率が下がることはよいことだが、ここが限界だと思う。加入者個人に保険料率が下がっていることをアピールするべきだと思う。

《学識経験者》

⇒保険料額表やリーフレットを全事業所にお送りしています。事業所内で加入者個人に周知していただく形となります。

◆チラシでは加入者があまり気づかないのではないかと。保険料率の広報ポスターは事業所に配布しないのか。《学識経験者》

⇒ポスターを全事業所に配ることは難しいため、経済団体や市町村等を中心とした関係団体にお配りしています。

◆千葉支部の保険料率の内訳をみると高齢者支援金等にあてる割合が約半分とほかの健康保険組合と比べて多いと思う。このことについても、加入者に積極的にアピールすべき。《学識経験者》

◆ジェネリック医薬品の使用推進等様々な取組をおこなった結果、保険料率が下がったということ加入者に今後アピールしていただきたい。《学識経験者》

◆保険料率が下がっているのは千葉支部の事業が効果的だった結果であり、評価されるべきだと思う。《被保険者代表》

◆保険料率は10%前後が限界だと思う。現状高齢者の加入割合が多く、慢性疾患を患う確率も高い。ジェネリック医薬品への切替え等の努力も必要だが、高齢者の慢性疾患の患者数を抑えるため、食事の管理にも力をいれていくべき。《事業主代表》

*「令和2年度 保険料率」について、評議会から了承いただいた。

4. その他

《主な意見・質問等》

◆インセンティブ制度について、例えば加入者数等の分母が大きい支部が1000の結果を出し、分母の小さい支部が100の結果を出したとしても、後者のほうの割合が大きければ高く評価される評価基準に疑問を感じる。評価には割合だけではなく、実際の影響額等も踏まえるべきではないか。この点について強く発信するようお願いしたい。《被保険者代表》

特 記 事 項

傍聴者1名（千葉日報記者）

次回の開催は令和2年3月5日（木）の予定。